

第24期・第1回 遺伝子組換え作物分科会議事概要

日時：2018年2月7日（水）15:00～17:00

場所：日本学術会議5階5-C(1)会議室

出席：大杉、青野、石井、射場、江面、河野、佐藤、都木、立川、塚谷、西澤、村中（スカイプ）（敬称略）

欠席：池田、堤、福田、水口、矢野、吉田（敬称略）

議事概要

（1）委員長、副委員長、幹事の決定

委員長：佐藤文彦、副委員長：大杉立、幹事：石井哲也、立川雅司

（2）第24期の分科会活動の進め方

- ・佐藤委員長より、22期・23期における検討経過およびゲノム編集の社会受容に関する最近の動向に関して配布資料に基づいて説明がなされた。
- ・本分科会における検討範囲について検討を行い、下記の通り概ね了解をえた。
ヒト以外の生物に対するゲノム編集技術。特に、食料生産に関する応用分野を対象とし、作物以外の水産や畜産も含む形で検討する。
なお、工業用の微生物などは含めない。
ゲノム編集のうち、外来遺伝子の挿入を含まないものを中心に検討する。
市民の意見を取り入れたかたちで、ゲノム編集の社会受容についての提言をまとめる。
- ・分科会での検討課題や技術動向などについて、フリーディスカッションを行った。
今期ゲノム編集に関して議論を予定している科学者委員会に対して、より幅広い視点で議論すべき課題として Gene drive や DIY 研究を提示することが了解された。
今後の検討にあたっては、科学的見地での検討を行った後、規制や登録等の課題を検討していくことが了解された。

（3）その他

特になし

（以上）